

ナショナルセンター  
(仮称)「北方領土・**知**の拠点」構想

～持続可能な返還運動をめざして～

# 北 方 領 土 元 居 住 者 の 状 況

(人)

島・村別		S20.8.15 現 在		H20.4.1 現 在		R8.3.31 現 在						
		元居住者		新元居住者	小計	元居住者	新元居住者	小計	2世	3世	4世	計
		世帯	人数①	人数②	人数①+②	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
歯 舞 群 島	水晶島	154	986	13	999	273	12	285	994	701	32	2,012
	勇留島	79	501	3	504	126	2	128	477	383	16	1,004
	秋勇留島	14	88	1	89	26	1	27	97	77	4	205
	志発島	374	2,249	22	2,271	665	19	684	2,217	1,701	49	4,651
	多楽島	231	1,457	13	1,470	419	13	432	1,256	907	33	2,628
	計	852	5,281	52	5,333	1,509	47	1,556	5,041	3,769	134	10,500
色丹島	206	1,038	19	1,057	262	16	278	954	811	11	2,054	
国 後 島	泊村	894	4,864	108	4,972	1,275	92	1,367	4,595	3,778	128	9,868
	留夜別村	433	2,500	40	2,540	691	34	725	2,460	2,169	42	5,396
	計	1,327	7,364	148	7,512	1,966	126	2,092	7,055	5,947	170	15,264
択 捉 島	留別村	424	2,258	78	2,336	664	71	735	2,079	1,508	21	4,343
	紗那村	226	1,001	36	1,037	297	32	329	876	612	8	1,825
	薬取村	89	349	11	360	87	9	96	268	158	2	524
	計	739	3,608	125	3,733	1,048	112	1,160	3,223	2,278	31	6,692
合 計	3,124	17,291	344	17,635	4,785	301	5,086	16,273	12,805	346	34,510	
平均年齢					90.3	79.3	89.6	62.6	40.0	22.2		

注1:「元居住者」とは、昭和20年8月15日現在において6月以上北方地域に生活の本拠を有していた者をいう。

注2:「新元居住者」とは注1に掲げる者の子であって、昭和20年8月15日以前6月未満の期間内に北方地域で出生し、かつ引き続き同日まで北方地域にいたもの、並びに昭和20年8月15日後に北方地域で出生したものをいう。

千島連盟(令和8年3月)

# ナショナルセンター (仮称)「北方領土・知の拠点」構想について

被爆地・ヒロシマに「広島平和記念資料館」があるように  
住民を巻き込んだ激戦地・オキナワに「沖縄県平和祈念資料館」があるように

「北方領土」には  
元島民の体験や記憶、想いを体現するシンボル施設が必要だ…

<イメージ>

- 元島民の体験や記憶、四島への想い、返還への意志を受け継ぎ、次の世代につなぐ施設
- 北方領土の自然・歴史・生活・文化など、北方領土をまるごと学ぶことができる施設
- 北方領土返還要求運動のシンボルとなる全国の拠点施設

## 広島平和記念資料館 (設置者・広島市)

- ・入館者数  
226万人(令和6年度)
- ・修学旅行受け入れ人数  
4,226校 33万人  
(令和6年度)
- ・収蔵資料2万点  
(平成21年時点)



## 沖縄県平和祈念資料館 (設置者・沖縄県)

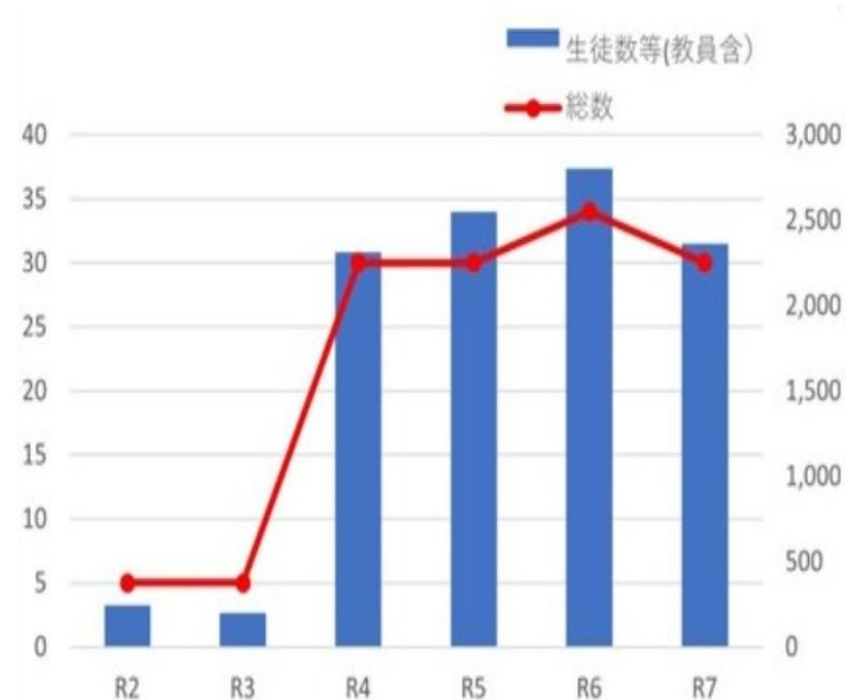
- ・入館者数  
31万人(令和6年度)
- ・修学旅行受け入れ人数  
1,134校 17万人  
(令和6年度)



# 「北方領土を目で見る運動」修学旅行等誘致事業

(内閣府ウェブサイトより)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
総数	5	5	30	30	34	30
生徒数等(教員含)	247	198	2,312	2,550	2,802	2,364



注) R2年度3年度については新型コロナウイルス感染症により減少

# 「北方領土・知の拠点」求められる3のつ機能

## ① 資料収集と展示機能

北方領土(千島列島を含む)の自然・歴史(先史時代から)・文化・生活・産業・四島での出来事などあらゆる分野の資料を収集し、将来にわたり保管するとともに、常設展示・企画展示を通じて北方領土への関心を高め、理解を深める。

## ② 調査・研究・提言機能

収集した資料の調査・研究や埋もれた資料の発掘・調査を行い、語り部の内容や展示、北方領土学習にフィードバックするとともに、北方領土に特化した学芸員・研究者の育成・配置を図りながら、日口関係有識者のネットワークを形成し、領土問題解決に向けた提言や研究会・国際会議の開催などを通じて国内外に情報発信を行う。

## ③ 後継者育成・北方領土学習機能

北方四島で生まれ、自分の体験を自分の言葉で語り伝えることができる元島民が『ゼロ』になる日--『元島民なき返還運動』の時代に備え、返還要求運動を将来にわたり持続可能なものとするため、国の責任において、全国の若い世代を対象とした北方領土学習や返還要求運動を担う後継者の育成を一元的に推進する。

# 戦後80年 **ロシア**の取り組み 「第二次大戦終結の出来事を記念する国家的なシンボル」

シュムシュ島(占守島) 野外博物館・記念複合施設(2030年完成予定)

